

景気景況調査報告

(第10回)

平成30年 4～6月期 実績

平成30年 7～9月期 見通し

平成30年8月

今期業況悪化、見込みは回復

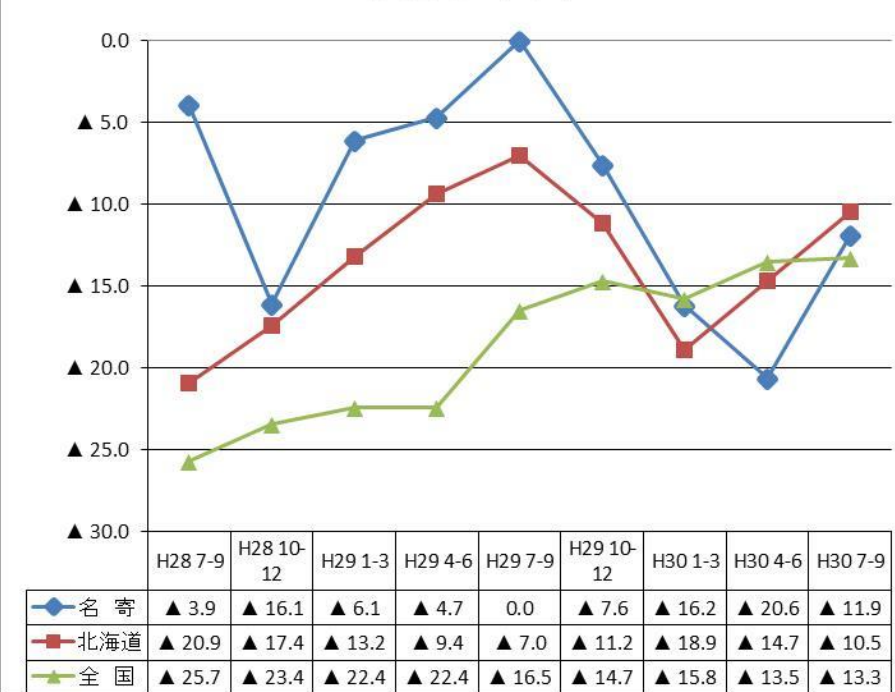
名寄商工会議所

I 調査要領

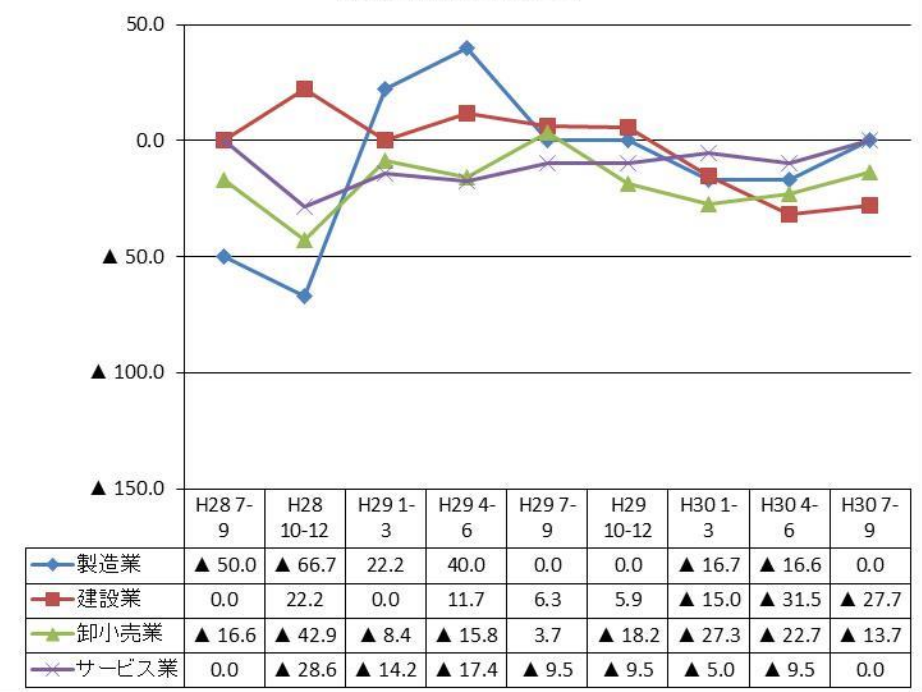
- ①調査対象期間 平成30年4～6月期の実績及び平成30年7～9月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い）69社

II 調査結果

全業種平均業況DI



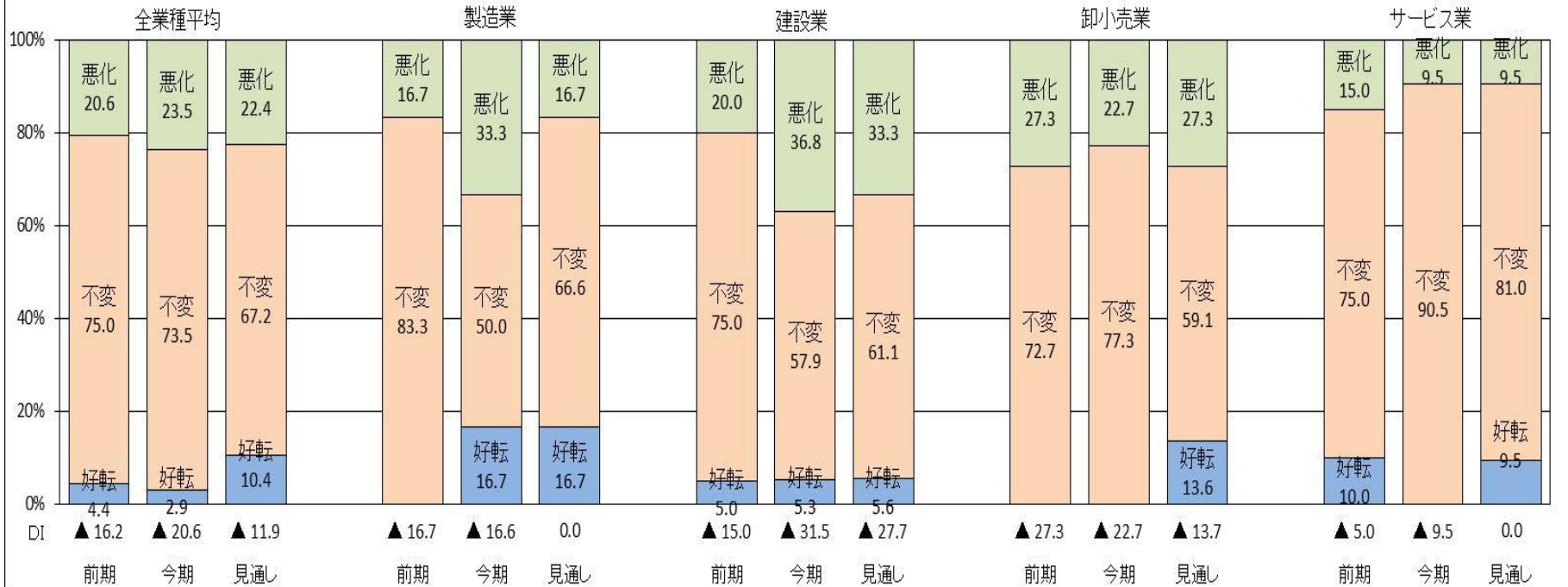
業種別業況DI



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・ 今期、全業種平均で▲20.6ポイントと前回の調査に比べ4.4ポイント減少、特化して建設業が悪化したことが要因。見通しでは平均▲11.9ポイントと全業種において回復が見込まれる。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気と比較すると、今期5.9ポイント悪いが、見通しでは1.4ポイントまで差が縮まっている。
- ・ 全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は7.1ポイント悪いが、見通しでは▲11.9ポイントと1.4ポイント上回る状況となった。
- ・ 見通しでは、名寄市・北海道・全国ともには改善傾向にあり、名寄市においては当期より8.7ポイント回復傾向にある。

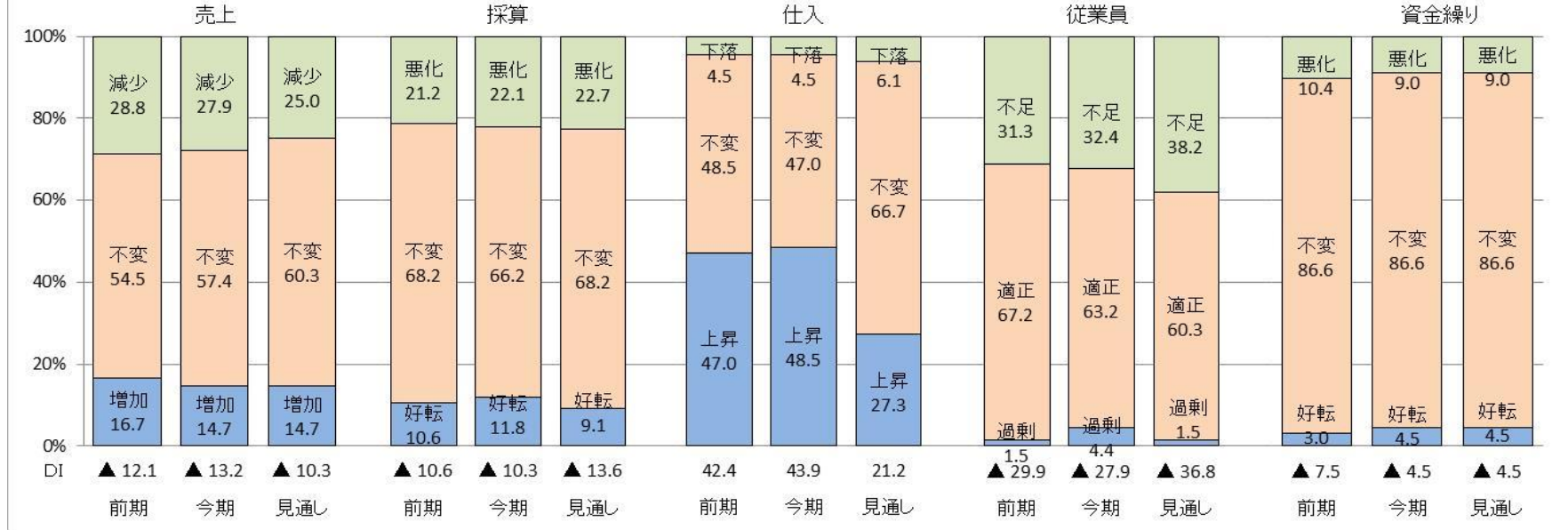
業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・製造業～前回「好転」がなかったが今期は16.7%となる一方、悪化も33.3%に増加している。
見通しでは「好転」「悪化」とも16.7%で、「悪化」は減少する状況となっている。
- ・建設業～今期は前期と比べ「悪化」が増加した。見通しでは若干「悪化」と回答が減ったが依然厳しい状況にある。
公共工事や民間工事の減少により業況が悪くなっていると回答。
- ・卸小売業～今期「悪化」22.7%と前期より4.6%改善された。見通しでは「悪化」が4.6%増加するものの、「好転」が13.6%に増加。
人口減と高齢化等により「悪化」意見が多いものの、PCサポート関係で「好転」という回答がある。
- ・サービス業～今期「好転」がなくなったものの、「悪化」も9.5%と前期と比べ5.5%減少している。見通しでは「悪化」は変わらないものの、「好転」が9.5%と「悪化」と同数になった。「悪化」の意見では人手不足が影響を及ぼしている。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI

見通しは▲10.3ポイントと今期より2.9ポイント改善見込。

- ・公共事業が順調に動いている
- ・住宅改修事業（名寄市リフォーム事業）により工事増
- ・公共工事の減少、天候不順、人手不足
- ・物流の低迷
- ・人口減少
- ・技術者不足により受注制限の為

採算 DI

今期▲10.3ポイントで前期とほぼ変化なかったものの、見込みでは▲13.6ポイントと今期より3.3ポイント増加。

- ・企業努力により経費削減
- ・住宅リフォーム事業により工事増
- ・客単価上昇
- ・受注減、売上減
- ・人件費高騰
- ・競合店との価格競争
- ・仕入単価上昇に伴う価格転嫁ができていない

仕入 DI

今期43.9ポイントと前期より1.5ポイント増加。見込みでは21.2ポイントと減少、現状価格と変わらないと感じている。

- ・原油価格の上昇
- ・人件費上昇による値上
- ・資材や原材料の高騰

従業員 DI

今期▲27.9ポイントと前期よりも2.0ポイント減少。見込みでは▲36.8ポイントと従業員不足が懸念される。

以前として退職後の補充ができない、特に建設業による不足の声が多い。

- ・仕事量に対して人数が少ない
- ・募集しても応募なし
- ・多忙期のため
- ・高齢化により退職者が増えた

資金繰り DI

今期▲4.5ポイントと前期から3.0ポイント「好転」。見込みでも今期同様となった。

売上減少にもかかわらず、設備投資したことや、今後の設備老朽化への対応によることが要因と見込まれる。